

て $3^{\circ}\sim 9^{\circ}$ 方向に装着致しております。

2. 私共が装着している場合は体部と思います。場所的な差異については不明です。

質問 (日本医大) 室岡 一

1. トランスジューサーに及ぶ胎動, 母体大動脈振動, 呼吸に伴う動揺から, 常時一定方向, 一定位置を保てるか?

2. 子宮血流量の測定にはなお問題点があるように思われる。

答弁 (自治医大) 佐藤 郁夫

1. 先生ご指摘の様に常時一定の場所で安定した情報を得るには尚問題が残ると思います。

2. 私共は血流量の測定と申しましたのは血流量の相対的な変化の測定の意味であります。正確には血流脈波の変化と申すべきでしょう。

質問 (日本医大) 鈴木 正勝

Uterine pulse transducerの波形または光の微分値による血流量の計測の信頼性について御教示下さい。

答弁 (自治医大) 佐藤 郁夫

私共が血流量と申しましたのは血流量の相対的な変化の測定と云う方が妥当だと思います。正確には血流脈波の変化と云うべきでしょう。

203. 子宮収縮抑制物質の基礎的および臨床的検討 (山形大)

千村 哲朗, 小田 隆晴, 広井 正彦

妊娠子宮収縮の抑制物質は, その臨床面より重要性を有するが, 現在考えられる各種物質について, 動物実験により基礎的検討をまた一部物質について臨床面から子宮収縮抑制物質の効果を検討した。

基礎実験として妊娠末期ラットの摘出子宮を用い, micro balloon 挿入後恒温槽で Krebs 液中に保生した。子宮収縮はポリグラフで記録し, 各種の抑制物質 (aspirin like drugs, β_2 -stimulants, PG antagonists, その他) の影響と自然収縮波および誘発波 (PGF $_2\alpha$, oxytocin) の作用を dose-response 的に検討し, 相対関係を追求した。その結果, β_2 -stimulant の抑制効果は, salbutamol, terbutaline にすぐれた potency を認め, また indomethacin も同様であつた。しかし ethanol の効果は認められなかつた。 β -blocker の収縮刺激作用を認め, PG antagonists (PPP, DPP) も中等度の抑制作用を示した。

臨床的には, 切迫早産症例に対し indomethacin や β_2 -stimulants, ethanol などの投与群でその子宮収縮抑制効果を検討したが, β_2 -stimulants 投与群や indomethacin

投与群でその効果を認めたのに比べ, ethanol の抑制効果は不満足でかつ side-effects を認めた。

β_2 -stimulants の切迫早産への治療は, 今後さらに検討され, 新しい切迫早産の治療方向を示すものと考えられる。

質問 (北里大) 加藤 芳克

1. balloon 挿入後自然子宮収縮開始時間, 及び収縮安定時間を御教示下さい (出来ましたら例数及びバラツキもお願いします)。

2. Krebs 液に対し O $_2$ 100% を用いられたとの事ですが, CO $_2$ 混合によらず Bath 内 pH の変化はありませんでしたでしょうか。

答弁 (山形大) 千村 哲朗

1) 多くは挿入直後よりみられますが安定化のため20分間後より実験開始し, 自然収縮の起こらない症例に対しては PGF $_2\alpha$, oxytocin により誘発しました。各群5例を最少とし, そのバラツキは0~20分以内です。

2) Bath 内の pH 変化は測定してありません。pH 変化は抑制実験では抑制物質の影響より少くないと考えました。

質問 (奈良県立医大) 石橋 尚武

1. β -stimulant 使用時の子宮胎盤血流量について検討されておられましたら御教示ください。

2. 妊娠ラットに1時投与する場合, 作用時間が最も長く続くと考えられる薬物は?

答弁 (山形大) 千村 哲朗

1) 外国文献では局所血流の増加の報告がありますが, われわれは現在検討中であります。

2) Diazoxide, Indomethacin, β_2 -stimulant らです。

質問 (大阪市立大) 日高 敦夫

1. β_2 -agonist の中最も母体頻脈の影響が少ない薬物は?

2. β_2 -agonist の子宮収縮抑制作用に関し, dose response は如何, もし差があれば何故でしょうか?

答弁 (山形大) 千村 哲朗

1) Terbutalin > Salbutamol でした。

2) 薬物組成構造の相違や, より $\beta_2 \gg \beta_1$ に関係あると思われませんが詳細は不明です。

204. 妊娠時における子宮および腎動脈血流量調節機序に関する研究

(京都大)

三田 喜雄, 佐川 典正, 成松 幹恭
松浦 俊平, 西村 敏雄